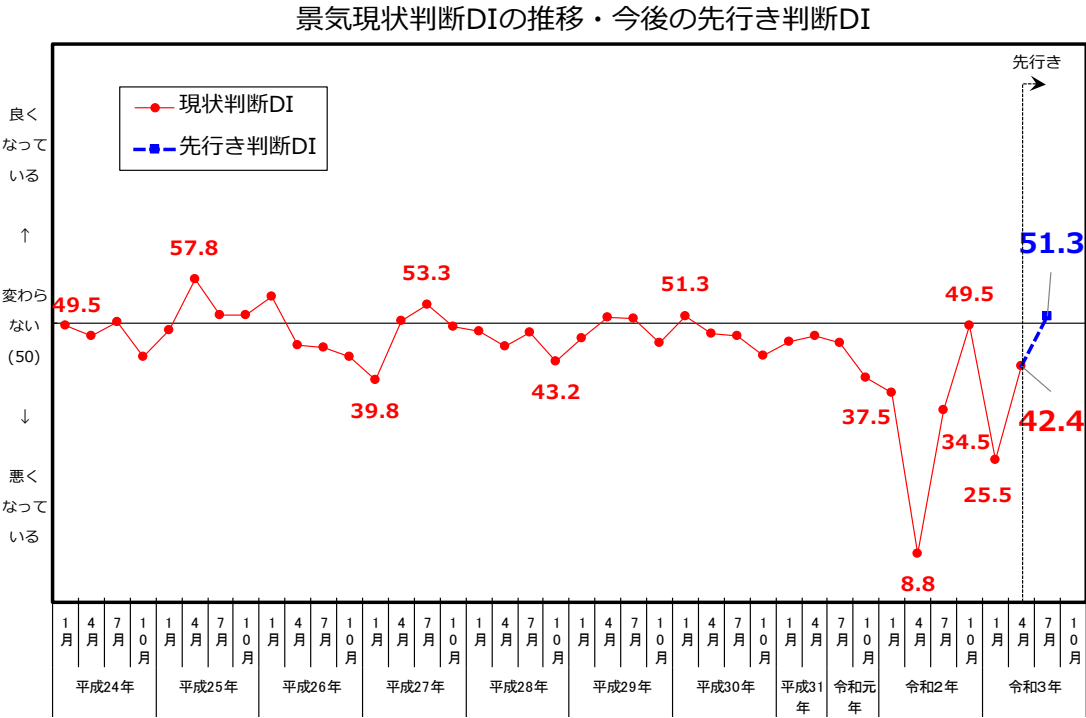


# 青森県景気ウォッチャー調査

## (令和3年4月期)

調査期間 令和3年4月1日～4月20日 回答率 99%

概 況
4月期の景気の現状判断DIは42.4となり、前期から16.9ポイントの大幅な増加となったが、景気の横ばいを示す50を13期連続で下回った。 先行き判断DIは、現状判断DIと比べて8.9ポイント増加の51.3となった。



令和3年4月

青森県企画政策部統計分析課

## 1. 結果概要

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイントの増加、「やや良くなっている」が15.1ポイントの増加、「変わらない」が12.1ポイントの増加、「やや悪くなっている」が6.0ポイントの減少、「悪くなっている」が22.3ポイントの減少となった。

全体では42.4となり、前期から16.9ポイントの大幅な増加となったが、景気の横ばいを示す50を13期連続で下回った。

判断理由では、人や商品の動きが出てきたこと、我慢していた事業計画を実行しようと動き出しているといった声がある一方で、景気が悪いまま変わらない、クラスターの発生によって客数が減少したなどの声があった。また、業種によって景気の良し悪しが分かれているといった声もあった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で17.9ポイント増加、企業関連で19.5ポイント増加、雇用関連で増減なしとなった。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが増加したが、いずれも景気の横ばいを示す50を下回っている。

### (2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が増減なし、「やや良くなる」が13.1ポイントの増加、「変わらない」が1.0ポイントの増加、「やや悪くなる」が6.1ポイントの減少、「悪くなる」が8.0ポイントの減少となった。

全体では、今期調査の現状判断DIと比べて8.9ポイント増加の51.3となり、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種による不安解消効果、祭りやイベント等開催による人出の増加への期待感を挙げる声が多かった一方で、ワクチン接種が行き渡るまでの不安感や、首都圏や関西でのまん延防止等重点措置の発令による先行きの不透明感を挙げる声があった。

#### ② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で11.2ポイント増加、企業関連で増減なし、雇用関連で7.1ポイント増加となった。

#### ③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、全地区でポイントが増加した。

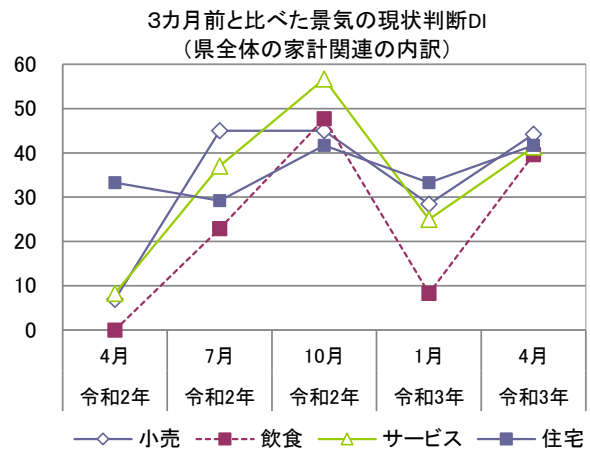
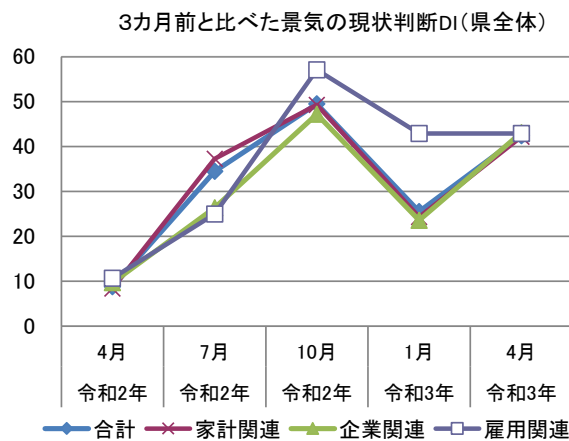
## 2. 県全体の動向

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

#### ①DI

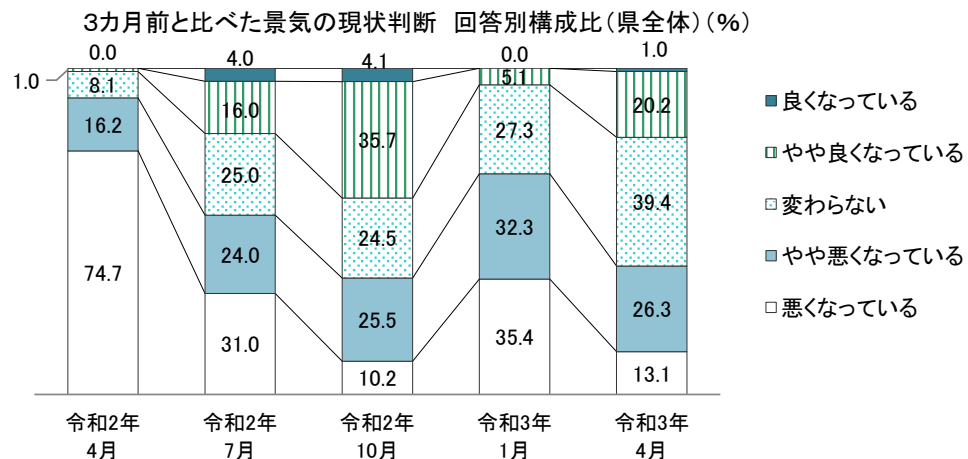
n = 99

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
合 計	8.8	34.5	49.5	25.5	42.4	16.9
家計関連	8.4	37.3	49.3	24.3	42.2	17.9
小売	6.9	45.0	45.0	28.4	44.2	15.8
飲食	0.0	22.9	47.7	8.3	39.6	31.3
サービス	8.3	37.0	56.7	25.0	41.3	16.3
住宅	33.3	29.2	41.7	33.3	41.7	8.4
企業関連	9.7	26.4	47.2	23.6	43.1	19.5
雇用関連	10.7	25.0	57.1	42.9	42.9	0.0



#### ②回答別構成比 (%)

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	4.0	4.1	0.0	1.0	1.0
やや良くなっている	1.0	16.0	35.7	5.1	20.2	15.1
変わらない	8.1	25.0	24.5	27.3	39.4	12.1
やや悪くなっている	16.2	24.0	25.5	32.3	26.3	▲ 6.0
悪くなっている	74.7	31.0	10.2	35.4	13.1	▲ 22.3



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 99

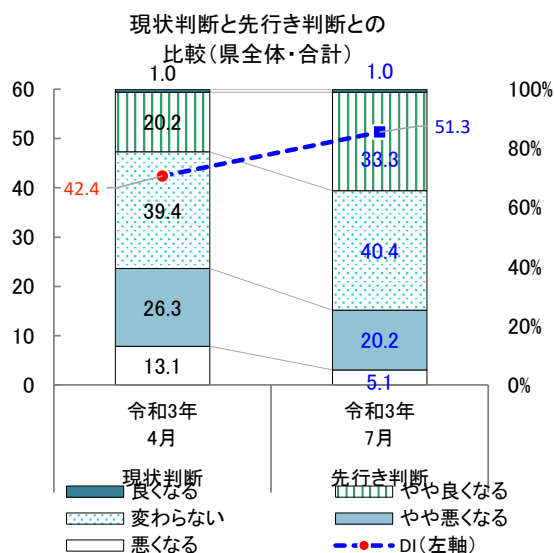
	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	前期調査 との差
合 計	11.4	38.0	48.5	37.1	51.3	14.2
家計関連	14.5	39.3	50.0	38.5	53.4	14.9
小売	12.1	30.8	46.7	37.1	52.5	15.4
飲食	10.4	27.1	47.7	33.3	56.3	23.0
サービス	17.6	53.7	57.7	40.7	54.8	14.1
住宅	20.8	41.7	37.5	45.8	45.8	0.0
企業関連	1.4	33.3	43.1	27.8	43.1	15.3
雇用関連	3.6	35.7	46.4	46.4	50.0	3.6

③ 今期の現状判断D I と先行き判断D I との比較

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
合 計	42.4	51.3	8.9
家計関連	42.2	53.4	11.2
小売	44.2	52.5	8.3
飲食	39.6	56.3	16.7
サービス	41.3	54.8	13.5
住宅	41.7	45.8	4.1
企業関連	43.1	43.1	0.0
雇用関連	42.9	50.0	7.1

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
良くなる	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	20.2	33.3	13.1
変わらない	39.4	40.4	1.0
やや悪くなる	26.3	20.2	▲ 6.1
悪くなる	13.1	5.1	▲ 8.0



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

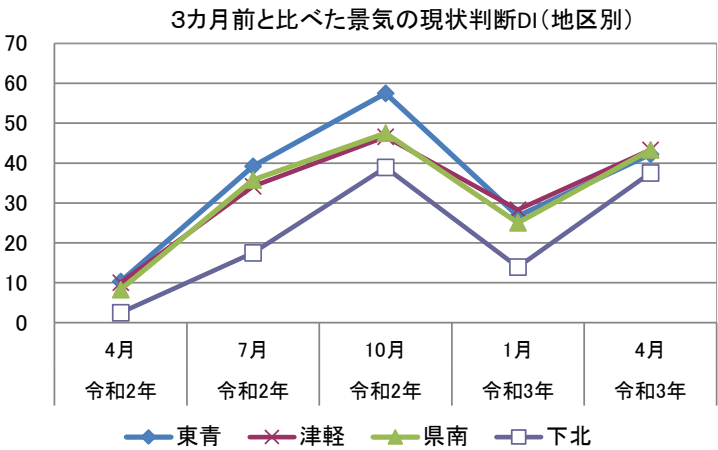
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

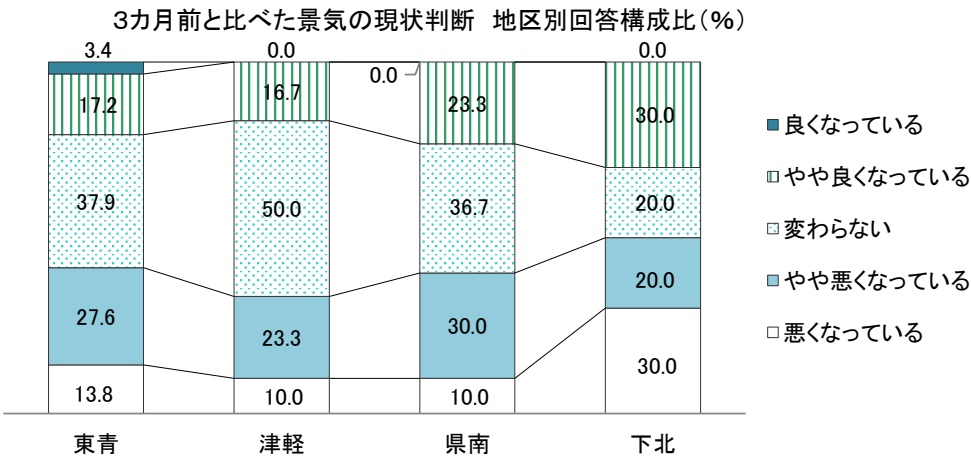
n = 99

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
合 計	8.8	34.5	49.5	25.5	42.4	16.9
東青	10.3	39.2	57.5	26.7	42.2	15.5
津軽	10.0	34.2	46.6	28.3	43.3	15.0
県南	8.3	35.8	47.5	25.0	43.3	18.3
下北	2.5	17.5	38.9	13.9	37.5	23.6



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	17.2	16.7	23.3	30.0
変わらない	37.9	50.0	36.7	20.0
やや悪くなっている	27.6	23.3	30.0	20.0
悪くなっている	13.8	10.0	10.0	30.0



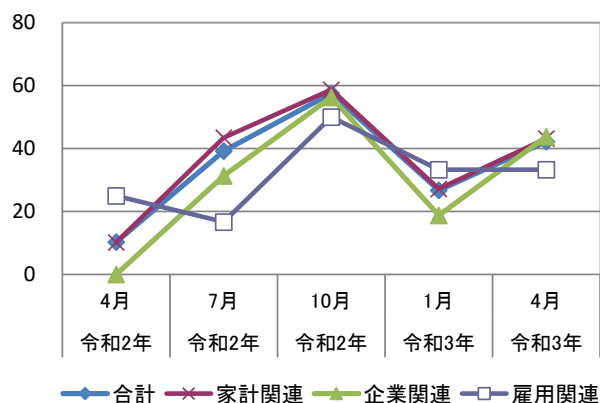
<東青地区>

①DI

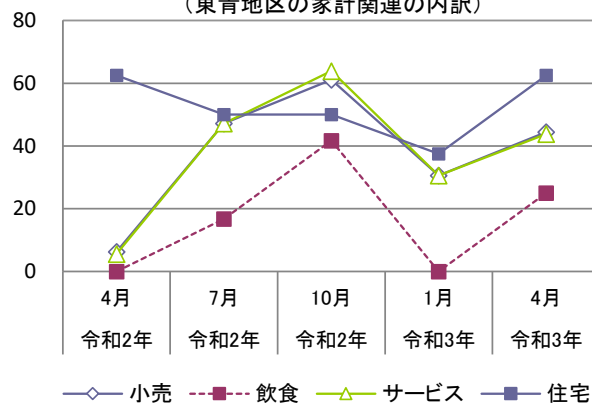
n = 29

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
合 計	10.3	39.2	57.5	26.7	42.2	15.5
家計関連	10.2	43.5	58.7	27.2	43.2	16.0
小売	6.3	47.2	61.1	30.6	44.4	13.8
飲食	0.0	16.7	41.7	0.0	25.0	25.0
サービス	5.6	47.2	63.9	30.6	43.8	13.2
住宅	62.5	50.0	50.0	37.5	62.5	25.0
企業関連	0.0	31.3	56.3	18.8	43.8	25.0
雇用関連	25.0	16.7	50.0	33.3	33.3	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



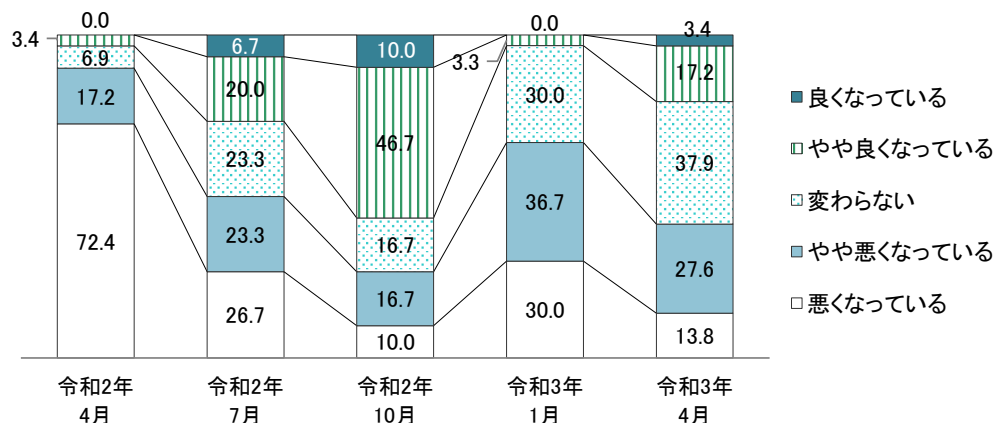
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	6.7	10.0	0.0	3.4	3.4
やや良くなっている	3.4	20.0	46.7	3.3	17.2	13.9
変わらない	6.9	23.3	16.7	30.0	37.9	7.9
やや悪くなっている	17.2	23.3	16.7	36.7	27.6	▲ 9.1
悪くなっている	72.4	26.7	10.0	30.0	13.8	▲ 16.2

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



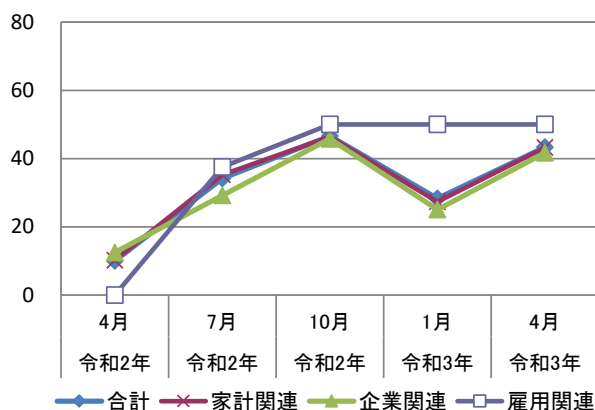
<津軽地区>

① D I

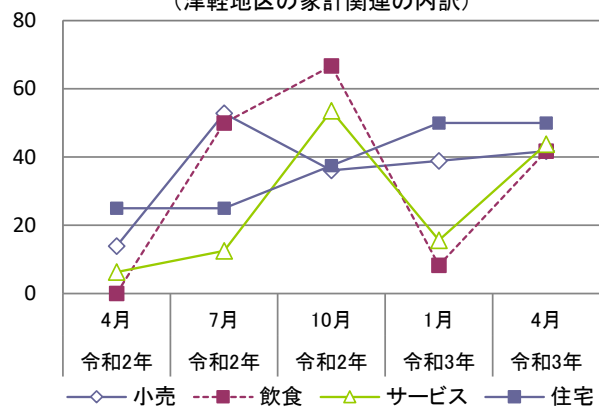
n = 30

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
合 計	10.0	34.2	46.6	28.3	43.3	15.0
家計関連	10.2	35.2	46.4	27.3	43.2	15.9
小売	13.9	52.8	36.1	38.9	41.7	2.8
飲食	0.0	50.0	66.7	8.3	41.7	33.4
サービス	6.3	12.5	53.6	15.6	43.8	28.2
住宅	25.0	25.0	37.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	12.5	29.2	45.8	25.0	41.7	16.7
雇用関連	0.0	37.5	50.0	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



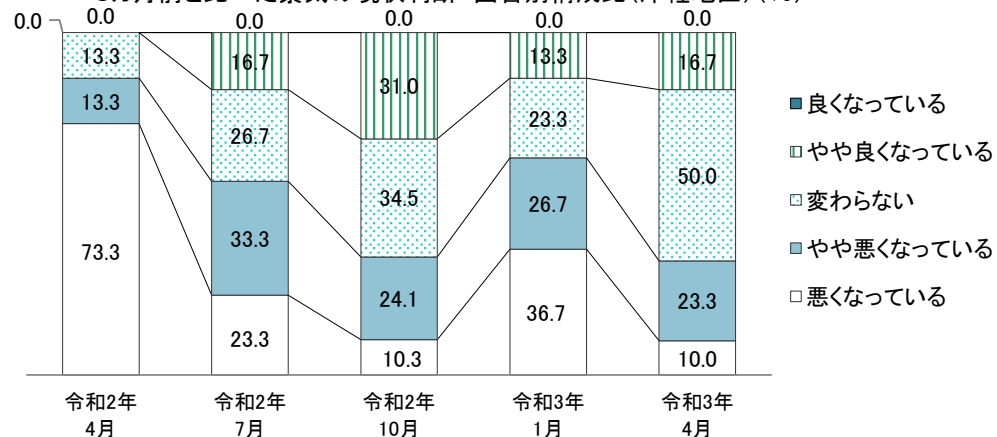
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	16.7	31.0	13.3	16.7	3.4
変わらない	13.3	26.7	34.5	23.3	50.0	26.7
やや悪くなっている	13.3	33.3	24.1	26.7	23.3	▲ 3.4
悪くなっている	73.3	23.3	10.3	36.7	10.0	▲ 26.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



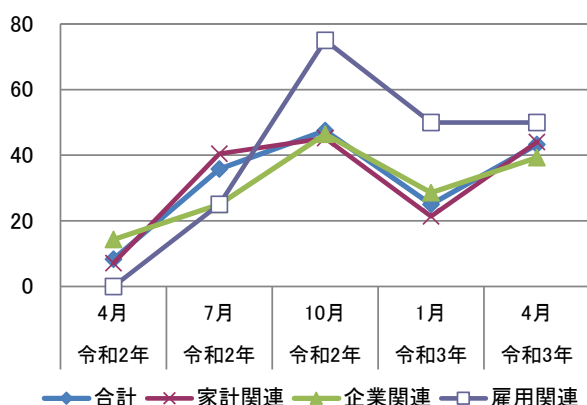
<県南地区>

① D I

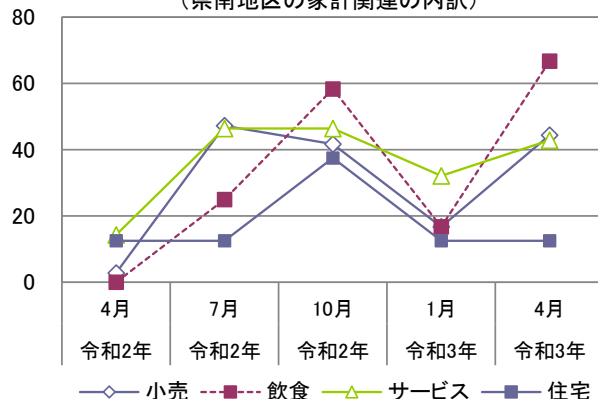
n = 30

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
合 計	8.3	35.8	47.5	25.0	43.3	18.3
家計関連	7.1	40.5	45.2	21.4	44.0	22.6
小売	2.8	47.2	41.7	16.7	44.4	27.7
飲食	0.0	25.0	58.3	16.7	66.7	50.0
サービス	14.3	46.4	46.4	32.1	42.9	10.8
住宅	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	0.0
企業関連	14.3	25.0	46.4	28.6	39.3	10.7
雇用関連	0.0	25.0	75.0	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



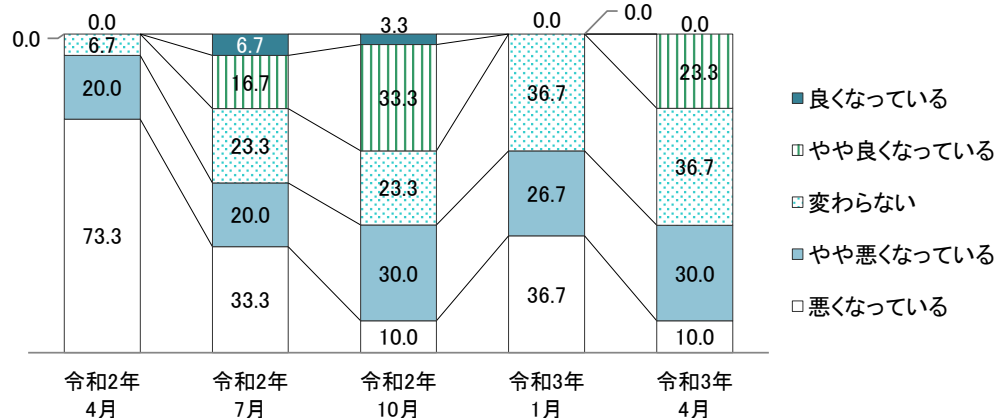
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	16.7	33.3	0.0	23.3	23.3
変わらない	6.7	23.3	23.3	36.7	36.7	0.0
やや悪くなっている	20.0	20.0	30.0	26.7	30.0	3.3
悪くなっている	73.3	33.3	10.0	36.7	10.0	▲ 26.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)



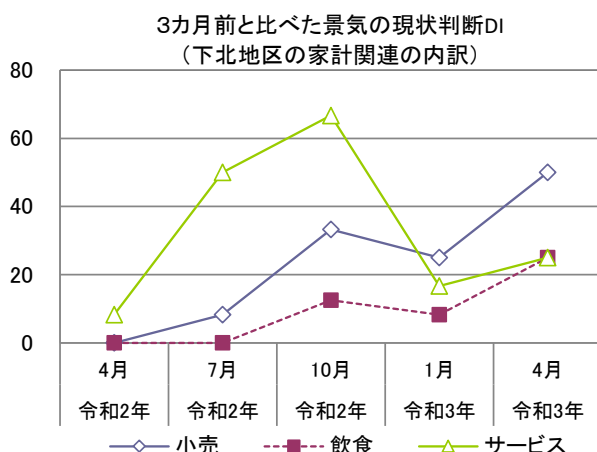
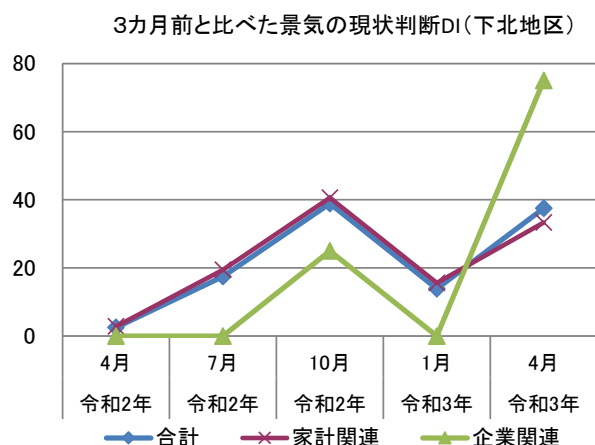


<下北地区> (参考)

①DI

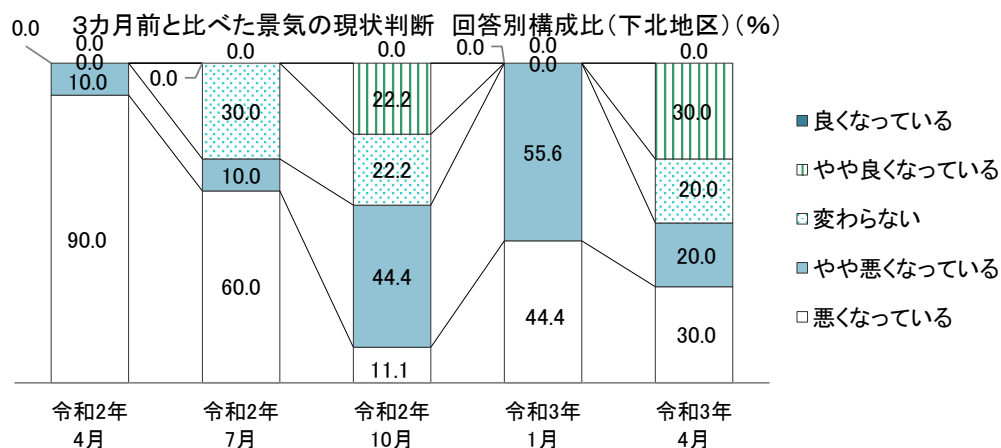
n = 10

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
合 計	2.5	17.5	38.9	13.9	37.5	23.6
家計関連	2.8	19.4	40.6	15.6	33.3	17.7
小売	0.0	8.3	33.3	25.0	50.0	25.0
飲食	0.0	0.0	12.5	8.3	25.0	16.7
サービス	8.3	50.0	66.7	16.7	25.0	8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	0.0	22.2	0.0	30.0	30.0
変わらない	0.0	30.0	22.2	0.0	20.0	20.0
やや悪くなっている	10.0	10.0	44.4	55.6	20.0	▲ 35.6
悪くなっている	90.0	60.0	11.1	44.4	30.0	▲ 14.4



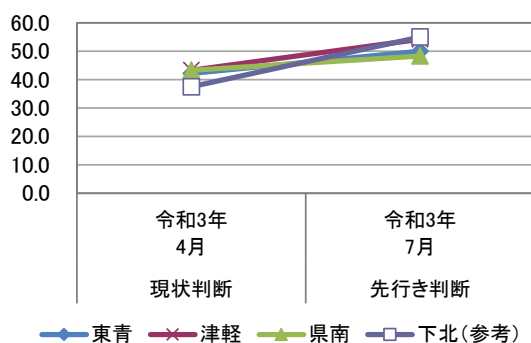
(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

n = 99	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
合 計	42.4	51.3	8.9
東青	42.2	50.0	7.8
津軽	43.3	54.2	10.9
県南	43.3	48.3	5.0
下北	37.5	55.0	17.5

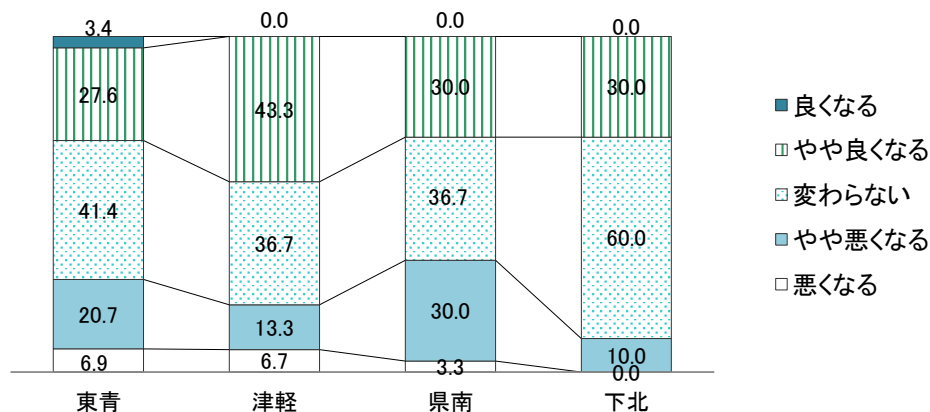
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較  
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	27.6	43.3	30.0	30.0
変わらない	41.4	36.7	36.7	60.0
やや悪くなる	20.7	13.3	30.0	10.0
悪くなる	6.9	6.7	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 29

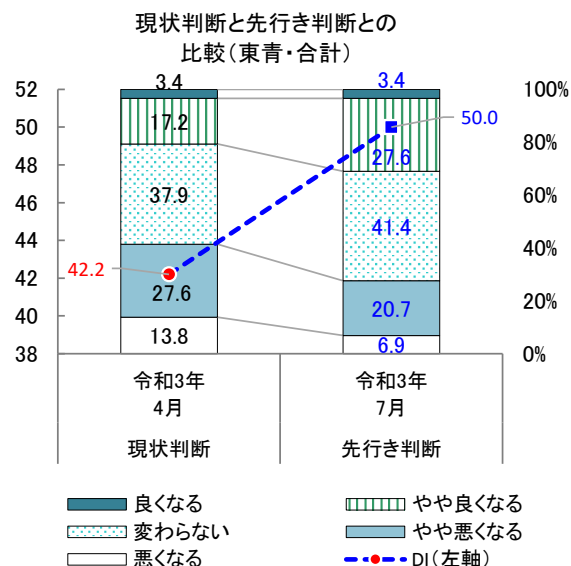
	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	前期調査 との差
合 計	10.3	35.8	49.2	33.3	50.0	16.7
家計関連	12.5	40.2	51.1	35.9	54.5	18.6
小売	18.8	25.0	52.8	41.7	52.8	11.1
飲食	0.0	25.0	58.3	16.7	58.3	41.6
サービス	8.3	61.1	50.0	33.3	56.3	23.0
住宅	25.0	37.5	37.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	0.0	12.5	43.8	25.0	37.5	12.5
雇用関連	8.3	33.3	41.7	25.0	33.3	8.3

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
合 計	42.2	50.0	7.8
家計関連	43.2	54.5	11.3
小売	44.4	52.8	8.4
飲食	25.0	58.3	33.3
サービス	43.8	56.3	12.5
住宅	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	43.8	37.5	▲ 6.3
雇用関連	33.3	33.3	0.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
良くなる	3.4	3.4	0.0
やや良くなる	17.2	27.6	10.4
変わらない	37.9	41.4	3.5
やや悪くなる	27.6	20.7	▲ 6.9
悪くなる	13.8	6.9	▲ 6.9



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	前期調査 との差
合 計	14.2	42.5	49.1	42.5	54.2	11.7
家計関連	18.2	43.2	56.0	42.0	53.4	11.4
小売	13.9	47.2	58.3	38.9	52.8	13.9
飲食	0.0	33.3	50.0	41.7	66.7	25.0
サービス	28.1	40.6	64.3	43.8	50.0	6.2
住宅	25.0	50.0	25.0	50.0	50.0	0.0
企業関連	4.2	45.8	33.3	33.3	50.0	16.7
雇用関連	0.0	25.0	25.0	75.0	75.0	0.0

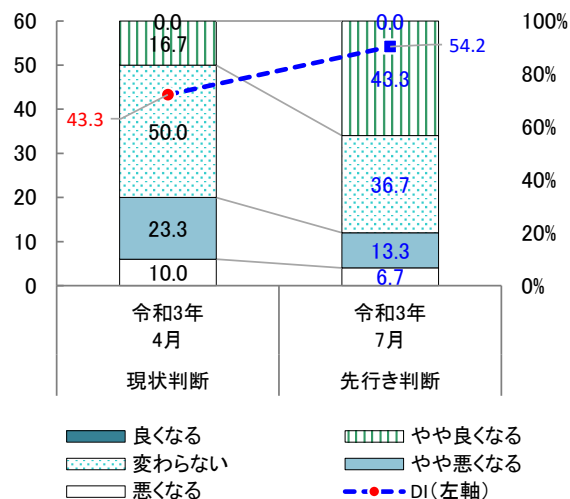
③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
合 計	43.3	54.2	10.9
家計関連	43.2	53.4	10.2
小売	41.7	52.8	11.1
飲食	41.7	66.7	25.0
サービス	43.8	50.0	6.2
住宅	50.0	50.0	0.0
企業関連	41.7	50.0	8.3
雇用関連	50.0	75.0	25.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	16.7	43.3	26.6
変わらない	50.0	36.7	▲ 13.3
やや悪くなる	23.3	13.3	▲ 10.0
悪くなる	10.0	6.7	▲ 3.3

現状判断と先行き判断との  
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

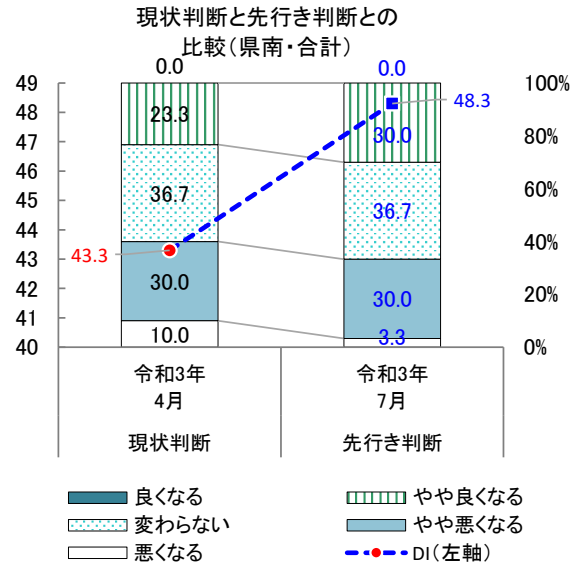
n = 30		令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	前期調査 との差
合 計		7.5	38.3	47.5	37.5	48.3	10.8
家計関連	家計関連	10.7	36.9	45.2	39.3	52.4	13.1
	小売	2.8	25.0	33.3	33.3	50.0	16.7
	飲食	0.0	33.3	41.7	41.7	58.3	16.6
	サービス	25.0	53.6	60.7	46.4	57.1	10.7
	住宅	12.5	37.5	50.0	37.5	37.5	0.0
企業関連		0.0	39.3	46.4	28.6	35.7	7.1
雇用関連		0.0	50.0	75.0	50.0	50.0	0.0

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
合 計	43.3	48.3	5.0
家計関連	44.0	52.4	8.4
小売	44.4	50.0	5.6
飲食	66.7	58.3	▲ 8.4
サービス	42.9	57.1	14.2
住宅	12.5	37.5	25.0
企業関連	39.3	35.7	▲ 3.6
雇用関連	50.0	50.0	0.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	23.3	30.0	6.7
変わらない	36.7	36.7	0.0
やや悪くなる	30.0	30.0	0.0
悪くなる	10.0	3.3	▲ 6.7



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

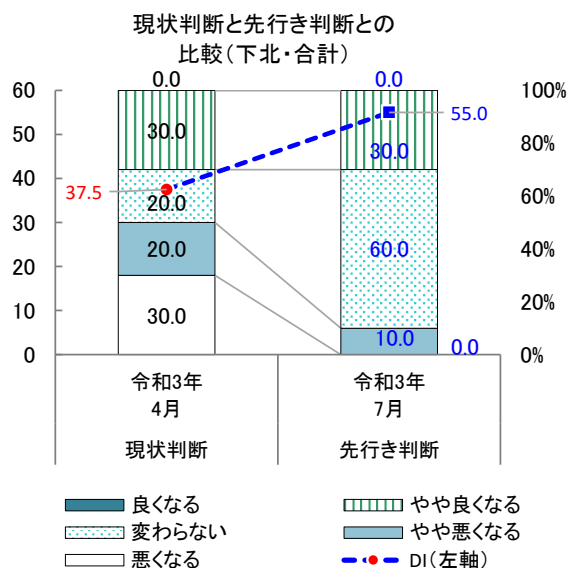
	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	前期調査 との差
合 計	17.5	30.0	47.2	30.6	55.0	24.4
家計関連	19.4	33.3	43.8	34.4	52.8	18.4
小売	16.7	16.7	33.3	25.0	58.3	33.3
飲食	41.7	16.7	37.5	33.3	41.7	8.4
サービス	0.0	66.7	58.3	41.7	58.3	16.6
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	0.0	75.0	0.0	75.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
合 計	37.5	55.0	17.5
家計関連	33.3	52.8	19.5
小売	50.0	58.3	8.3
飲食	25.0	41.7	16.7
サービス	25.0	58.3	33.3
住宅	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 4月	先行き判断 令和3年 7月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	30.0	0.0
変わらない	20.0	60.0	40.0
やや悪くなる	20.0	10.0	▲ 10.0
悪くなる	30.0	0.0	▲ 30.0



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	百貨店	これまで動きの鈍かった高額品の動きが目立つようになっています。
やや良くなっている	家計	東青	都市型ホテル	宿泊利用者（県外客）については増加している。宴会・レストラン利用については横ばい。
			住宅建設販売	春になり着工へ向けいそがしくなった。来場、ネット問い合わせなど増加してきているため。
			美容院	年が変わって出歩く人が多少、多くなりつつあります。
			一般飲食店	2月から3月にかけて、日がすすむにつれコロナに対する不安もうすれていて、あちこちでクラスターなどがおきると経済がおさえられながらも次第に人が動いている。
			卸売業	各業態の得意先売上が上がっている。
		津軽	商店街	3カ月前と比べてやや良くなっているだけで、景気そのものはあいかわらず良くはない。
			設計事務所	コロナの影響で冷え込んだ昨年に比べると、我慢していた計画を今年は実行しようと動き出しているのではないかと。
		県南	百貨店	物産催事、折込広告に対する売上が前々年並に上昇してきている。
			商店街	人の動きが少しずつ増えてきているから。
			スナック	少し人が出てきているように思える。
			旅行代理店	ウイルスに対する予防対策を知り、世の中の動きが少しずつ見えてきたのが気を付ければ外出しても良いかなという気持ちに変わってきた結果かもしれません。
			レストラン	来店されるお客様が増えた(少人数でとか、家族とか)。
		下北	コンビニ	暖かくなってきたので、少しずつ人が動いてきたように感じる。
			スーパー	コロナの発生がなく短時間の買物がさかんである(食品)。時間をかけての買物は、不振(衣料関連)。
	企業	津軽	経営コンサルタント	3カ月前があまりにひどかったので、現在が良い訳ではない。
		県南	電気機械製造	製造業では中国や欧州向けの工業品で受注が増えている。少し納入を待っていただく顧客も出てきている状況。
		下北	食料品製造	R2.12月～R3.2月迄、コロナ緊急事態で最悪だった頃よりは良い。又、昨年の3月以降より悪い事は考えられない。
	雇用	県南	新聞社求人広告	3カ月前と比べれば良いが、そこまでいいかと言われるとそうでもない。営業広告は少しずつ上向いてきている。
変わらない	家計	東青	旅行代理店	コロナでお客様の動きがなくずっと休業中だ。
			ガソリンスタンド	相変わらずの自粛ムードで、コロナ感染の状況はむしろ悪化している。
			設計事務所	自粛制約される日々の生活で行動して生まれる経済活動の動きが希薄の上、周りには往来する人影もまばらでさびしい状態です。
			一般小売店	この3カ月で世の中の状況に特段の変化が見られないから。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	衣料専門店	どうもこうも承知のコロナウイルスの蔓延から風評被害、外出自粛の影響です。
			パチンコ	まだ悪いままでの推移です。
		津軽	乗用車販売	新車販売が回復しない。
			旅行代理店	コロナの影響が今まで影響なかった業界まで影響が及んできている。
			一般飲食店	さくらまつり客の団体予約が入っていたが、キャンセルが続いている。3月も昨年と売上が変わらなかった。
			都市型ホテル	コロナの終息が見えないため。
			美容院	三ヶ月前の緊急事態宣言下に比べると解除後の今は少し行動範囲が広がっているようだが、外出自粛傾向も変わらず第四波到来への怯えがあるように思える。
			パチンコ	変わってないから。
			衣料専門店	依然コロナ禍で購入きっかけが無い。
			卸売業	緊急事態宣言中でしたので規制がある中での景気と解除されたといえど感染を心配して出歩かない為悪いままで推移している。
			コンビニ	私の店の立地は、お客様の仕事休みが増えると客数、売上減少します。
			タクシー	市民の方々は必要最小限の用事が終わると、ウィルス感染を恐れて直ぐ帰宅。
			美容院	今のところ、定期的に来店いただいているので、あまり感じていません。話題にもあまり出て来ません。
			一般小売店	景気は下向きベースのままで、コロナワクチンの普及のプラス材料でブラマイゼロかな？
		下北	ガソリンスタンド	依然としてコロナ感染を警戒して色々な行事が中止や縮小になっている。下北はまだ数名しか出ていないが、逆に出してはいけないというプレッシャーもあり行動も萎縮している。
			レストラン	2月、3月良かったが、4月になって厳しい。
	企業	東青	食料品製造	大手スーパー関係ばかり良いようです。零細企業は厳しすぎます。
			経営コンサルタント	GOTOキャンペーンが中止になった時から経済状況はほとんど変わっていない。田大雪により消費者の行動範囲に制限があるものの、購買回数は減っているが購買量は変わらなかったと思われる。
			食料品製造	コロナウイルスが終息しない為。
		津軽	広告・デザイン	仕事量、売上高が増えていない。
		県南	飲料品製造	忘年会新年会がまったくおこなわれなかった年末年始同様の雰囲気のまま経過し、コロナ以前におこなわれていた謝恩会、歓送迎会などが全くなし。ホテル、飲食店等苦境が続きお酒の出荷も同様である。巣ごもり需要の動きも以前よりは鈍く感じられる。
			紙・パルプ製造	新型コロナ対応が継続。



現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	県南	建設	地元コロナが発生していないことから、送別会などはそれなりに最近行われているようだ。□のことから以前よりは多少改善しているようにも思えるが、一部の業種だけの一時的な恩恵となっている可能性が高く、基本的に全体的に良くなっているとは言いにくい。
	雇用	東青	新聞社求人広告	新型コロナウイルス感染の収束がみられず、社会、経済も一進一退を繰り返している状況が続いている。
			人材派遣	急遽の人員不足などはあるが、人員削減が多く新しい求人が発生していない。
		津軽	新聞社求人広告	新型コロナ感染に歯止めがかからず、春物セールの街もいま一つ活気がない。
			人材派遣	新型コロナの終息の気配が見いだせないかぎり、この状況は続くと思う。
やや悪くなっている	家計	東青	家電量販店	前3カ月は平年より積雪が多く、スノーダンプやスノーブッシャーなどの除雪用品が好調だったが、青森市内で大規模なクラスターが発生し、客数が昨年3月に比べ1割ほど少なくなっているため。
			コンビニ	お客様の来店する数が減っている為。
			観光名所等	閑散期が終わり、入場数が増えてきたが、クラスターの発生により減少済み。
			タクシー	新型コロナウイルスのクラスターが青森市内でも発生したことで更に皆さん臆病になっているように感じます。また、消費税込みの総額表示義務に関してはタクシーのメーター料金は元々税込みなので改めてあまり意識はしませんが、小売業に関してはこれからじわじわと影響が出てくる可能性があるような気がします。
			スーパー	コロナウイルスによるクラスターが発生し、年配層を中心に外出を控えている印象。
			商店街	今年の冬の厳寒もあったが、コロナがそう簡単には収束しないどころかまん延と隣り合わせに在る現実には気づきはじめ、そのことで外出しない人々、逆に散歩する人々で、片方は購買意欲が失せ、片方は結果としてまた外出規制を呼び、全体的に人出が非常に減っているように見える。
			乗用車販売	業種によって良い悪いがはっきり分かれて来てると思う。周りでも景気が良いという話がなくなり売上げが落ちているという声が多いため。
		津軽	コンビニ	前年度にコロナの感染症が出た頃で、そのまま景気が悪化。その景気は、かわらず悪いが続いている。
			観光型ホテル・旅館	コロナ禍でキャンセルが続いている。
			レストラン	クラスター等の発生で飲食部門の売上が減少している。
			住宅建設販売	コロナ禍の影響でお客様自身の動きが鈍い。
		県南	ガソリンスタンド	コロナ感染症に対する、自粛により、経済活動が停滞し、特に飲食店関連は年末年始、3月の歓送迎会の中止により、大変厳しい状況にあるということ。
			スーパー	売上・客数減、倒産、廃業、減給、返済等々、お客様との会話から好転している話はなく悲観的。
			観光名所等	客入数、売上共に減少が続いているため。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	県南	住宅建設販売	引き続き、市内、県内でもコロナが発生しており、各種イベントが相次いで中止となっているため。
			家電量販店	昨年が業界的に良かった事で今回は昨年と比較しても落ち込んで行く見込みです。
		下北	都市型ホテル	多人数での会食自粛により、元々少人数での利用が盛でないホテルなので、各団体の宴会等はほぼ無い状況です。□
			一般飲食店	コロナ問題で人は出てこないし宴会は出来ないし、ふんだりけったりです。
	企業	東青	建設	大型案件が目立つが売上となるのは来年以降となるため民間の投資が落ち込んでいる。
			津軽 電気機械製造	コネクタ部品販売のピークが過ぎ、次期モデルへの準備期間のため。
		県南	食料品製造	先行き不安。
			経営コンサルタント	クライアントの毎月の決算データを見ていても、決して楽観的な数字は見られない。社会全体が縮こまってしまっているみたいです。
悪くなっている	家計	東青	観光型ホテル・旅館	宿泊業について、各キャンペーンにより宿泊者数を下支えしては頂いたが、4月からの見通しが立たない。
			レストラン	市内からコロナが出るとキャンセルに！！
			スナック	コロナ感染拡大で厳しい毎日、疲れます。何から何までコロナのせいです。どうしたらいいかパニック状態です。
		津軽	一般小売店	前の3か月が前年比98.8%であったが、□の3か月は91.2%と落ち込んでいるため。
			観光名所等	コロナ禍。
		県南	設計事務所	コロナの影響で人材マーケットに人があふれている。
			衣料専門店	県内でのコロナクラスター頻発。
		下北	タクシー	売上が下がったまま回復しない。
			一般小売店	コロナが発生してから1年が過ぎ、給付金や、借入れなど□持ちこたえてきたが、依然先の見えない状況で体力がなくなっている。
			スナック	皆、自粛しているため。
	企業	県南	広告・デザイン	コロナ第4波の勢いが止まりません。関東・関西エリアだけではなく八戸、青森とクラスターが発生、イベントの中止がまだまだ続いています。今後の売上げが見えてきません。

## (2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	都市型ホテル	現状でも、例年比7～8割（宿泊部門）であり、観光需要が戻る可能性が徐々に高まり、県外ビジネス利用も増加していくと思われる。直近の状況はクラスターやリバウンドで思わしくないが。
やや良くなる	家計	東青	商店街	コロナに関しては、暖かくなることにより換気がしやすくなり、また外気に触れて出歩く機会が増え、ワクチン接種も進むことから気持ちが明るくなると思われる。また、しばらく閉ざされていたことによる閉塞感からもいづらか解放され、解放感による購買行動に繋がって行くと思われる。
			一般飲食店	昨年の落ち込みがすごく、その反動は必ずあると思います。ただ、それが元の通りなのか又、別の新しい経済の動きであるのか、それを見極めないと本当の良い流れにならないと思う。
			卸売業	お祭りの再開等、コロナ禍での行事、催事が上手に行われると景気も上がってくると思う。
			コンビニ	だんだんあたたかくなってくるので期待して。
			旅行代理店	コロナが終息し、オリンピックムードになれば良くなると思います。
			観光名所等	修学旅行の予約あり。
			一般小売店	人流は活発化してくると思われるから。
		津軽	一般小売店	ワクチンに期待したいが、変異株の勢いが強くなっていることと、昨年融資でしのいだ企業も返済が始まるので、景気が落ち込む。
			コンビニ	さくらまつりが開催されるので人出に期待している。
			一般飲食店	新型コロナウイルス感染症のワクチンが、少しずつだが回り始めることが予想されるため。
			都市型ホテル	ワクチン接種によるコロナの終息に期待します。
			旅行代理店	ワクチン接種が開始されて、少しずつ経済が回復されると期待して。昨年と比べ、祭り開催などが発表されている。
			商店街	さくらまつりなど大きなイベント開催により、景気はやや良くなると思う。ただし、新型コロナウイルス感染防止対策の甘すぎる内容に、これでいいのかとかなり不安である。
			スナック	暖かくなって来たので少しは景気回復に向かって欲しいという願望です。
			乗用車販売	コロナのワクチン接種により安定感が増すのでは。
			設計事務所	仕事の受注見込みが昨年の同時期と比較して増加している。
		県南	スナック	ワクチン接種があるので。
			タクシー	コロナワクチンの接種が終わると、気持ち的には大分安心感も出て出かけるようになるのではないかと。早く、ワクチン接種が出来るように願うだけ！！
			旅行代理店	ワクチン接種やPCR検査が更に身近になり、ウイルスへの対応策ももっと正しい知識が身につくため。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	県南	衣料専門店	コロナ感染対策次第だが、ワクチン接種の進行により気分的な昂揚感も発生し今まで抑制していた消費行動に向けられると考えられる。
			美容院	コロナのワクチン接種により、感染が減って来ると活動活性化されて来ると期待しています。
			一般小売店	景気は下向きベースのままだが、コロナワクチンの普及のプラス材料でプラマイゼロかな？
		下北	ガソリンスタンド	コロナワクチン接種が広がり、多少なりとも従来の生活に戻るのではないかと期待しています。
			コンビニ	夏場ということもあるし、新型コロナのワクチン接種が進んでいけば人が動くようになると思う。
	企業	東青	経営コンサルタント	米国の景気対策や、高齢者のワクチン接種が4月から始まることにより、景気にも徐々に好影響が出てくると思われる。
		津軽	電気機械製造	今年度モデルの生産が徐々に増えてくるため
		県南	紙・パルプ製造	オリンピック特需への期待感
		下北	食料品製造	R2.12月～R3.2月迄、コロナ緊急事態で最悪だった頃よりは良い。又、昨年3月以降より悪い事は考えられない。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	新型コロナ感染の状況次第だが、J R東日本の東北デスティネーションキャンペーンに期待したい。
			人材派遣	新型コロナワクチンが普及することによって状況はいい方に向かうと思う。
		県南	新聞社求人広告	希望も入っているが、イベント等の復活やワクチン接種で良くなってほしい。
変わらない	家計	東青	住宅建設販売	通常はどんどんいそがしくなるが、コロナの影響を受け変動するので今は何も言えない状況
			美容院	急な変化はなくても少々変わりつつあります。
			設計事務所	オリンピック開催が予定通り行われれば気持ちでは上向きになりゆながら消費が促進されるであろう、逆であれば当分は景気の浮上はない。オリンピックは話題にも上がらない。
			タクシー	加速度的に世の中が悪くなっていった昨今の今頃と比較しても、環境的には今年の方が更に悪いように感じます。マスクや消毒液は今や簡単に入手することができるようになりましたが、ただこの環境に慣れてきたということだけで、問題の根本が何も解決されていないので、悪いまま変わらずといったところでしょうか。
			スナック	青森県もコロナ感染者数が増えてますから深刻な状況です。お知り合いのお店も閉店が多く寂しいです。明日は我が身です。
			レストラン	コロナをなんとかしないと、、、
			百貨店	前回同様、わからない。のが、正直なところ。感染症の拡大状況に左右される傾向は今後も続くと思われます。
			衣料専門店	ワクチン接種から安心感が出てくるのを期待しますが、効果が出てくるのは6月以降との事から。
		津軽	美容院	第四波が報道される中、本当にオリパラは行われるのだろうか？
			レストラン	コロナ感染がすぐには収まらないから。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	パチンコ	コロナがまだ落ち着いてないから。
			衣料専門店	コロナ禍が継続しているから。
			レストラン	コロナウイルスの感染者が増えると、どうなるかわからないので。
			百貨店	新型コロナの感染状況が極端に悪化しなければという前提つきで。
			住宅建設販売	ワクチンの接種の見通しがたたず、発症者数も今と変わらず推移すると思うため。
			商店街	首都圏や関西の蔓延防止やワクチンの状況が不透明だから。
			一般飲食店	悪いのは変わらないと思う。ワクチンもまだまだ接種困難なようだし、陽性者もまだまだ増加傾向にあるようだし、先行きがどうなるかわからない現状のようだ。
			卸売業	出歩かない生活様式が定着した為、消費行動が増えると思えない。予防ワクチンや治療薬の開発が進めば改善となるでしょうが難しい状況にある。
		県南	スーパー	全国、県内のコロナの状況を鑑みると、今年のGWも昨年と大きく変わらないと予想。お盆も過剰な期待は出来ない。
		下北	一般小売店	この先ワクチン接種が全体にいきわたり、効果が出るまでは、現状変わらないと思う。
			一般飲食店	コロナが収束の兆しがなければ変わらないと思う。
			タクシー	当面は良くならないのではという予想です。
			スーパー	しばらくの間現状維持、コロナの動向次第。
			都市型ホテル	少なくとも、3カ月程度でこの状況が好転するとは思えない。
	企業	津軽	飲料品製造	取引先からの間取りにて。
			広告・デザイン	見積り、依頼件数、単価見込が増加しておらず、悪い状況のまま、今とあまり変わらないのでは。
			経営コンサルタント	一般高齢者等へのワクチン接種が進んで行けば、人の流れは出てくるだろうが、県をまたいでの移動はまだ難しいだろう。
		県南	経営コンサルタント	新型コロナウイルスの終息が見えない。令和3年になって普通に経済活動ができるのかなと思っていたが、ますます悪化しそうです。オリンピックも通常開催が危ぶまれる状況です、とても楽観的にはなれません。口
			電気機械製造	製造業などの産業は好調か変化なしだが、海外向けは良くて国内向けがあまり良くない。新型コロナの対策があまりうまくいっていないことが影響している。
	雇用	東青	人材派遣	先行きが見えないため、経済活動として大きく動かないように見える。
やや悪くなる	家計	東青	家電量販店	昨年に比べ客数が1割ほど少なくなっており、外出を控える傾向が見られるため。
			スーパー	大都市圏でまん延防止等重点措置が発令。地方にも広がる可能性があります。
			乗用車販売	少しずつ悪くなるように思える。コロナの影響もあり良くなる兆しが見当たらないため。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	津軽	住宅建設販売	お客様の動きが現在鈍いということは新築などの決断や実行時期が少し先延ばしとなる為。
		県南	家電量販店	昨年が業界的に良かった事で今期は昨年と比較しても落ち込んで行く見込みです。
			コンビニ	新型コロナ感染症の拡大により。
			設計事務所	良くなる材料が見当たらない。
			ガソリンスタンド	コロナ感染症の拡大が東北そして県内にも拡がりを見せている状況を考えると、宴会、会合等、自粛せざるを得ず、良くなる材料に乏しい。
		下北	レストラン	コロナも増えてきているので、外食が減りそう。
	企業	東青	食料品製造	大型連休前でも 帰省や旅行は控えなければならない状況が続いています。
			広告・デザイン	新型コロナ感染がどこまで抑えられるのか不明。むしろ第4波、第5波が来るのではないかと。
		県南	食料品製造	先行き不安。
			飲料品製造	東北で次第に感染者が増加し、さらには県内でも多数クラスターが発生し、感染経路も不明者も増え、ますます気持ちも縮こまっている。コロナ禍でのホテル、飲食店等での感染防止対策は進むが、飲食方法の定着、人出の回復には全然つながっていない。当然アルコールの消費量の回復は見込めない。
			建設	これからGWや春のイベント開催が予定されており、県外の人々の往来で本格的な第4波が到来すると思われる。再度緊急事態宣言や自粛モードに転ずると、景気は悪化の一途をたどることになると思う。
悪くなる	家計	東青	観光型ホテル・旅館	ワクチン等感染防止対策が一般市民に行き渡るまで宿泊業は補助等に頼らなければ厳しい状況です。現在では企業の体力勝負に任せており、休業業が本格化するのはいずれからかもしれません。
		津軽	観光名所等	この先コロナの変異。
	企業	県南	広告・デザイン	予定していたイベントが中止、縮小となりました。

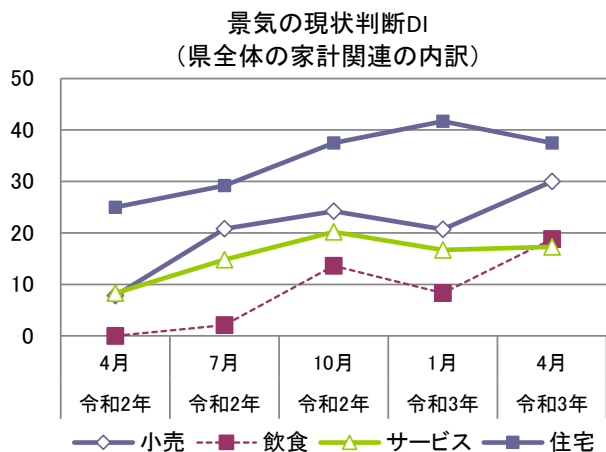
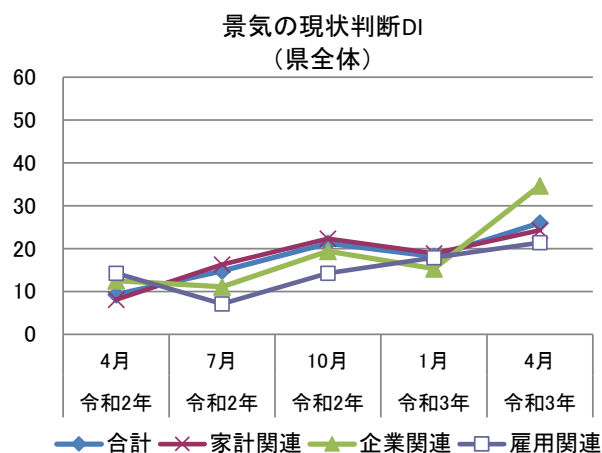
# 5. 参考

## (参考1) 景気の現状判断

### ①DI

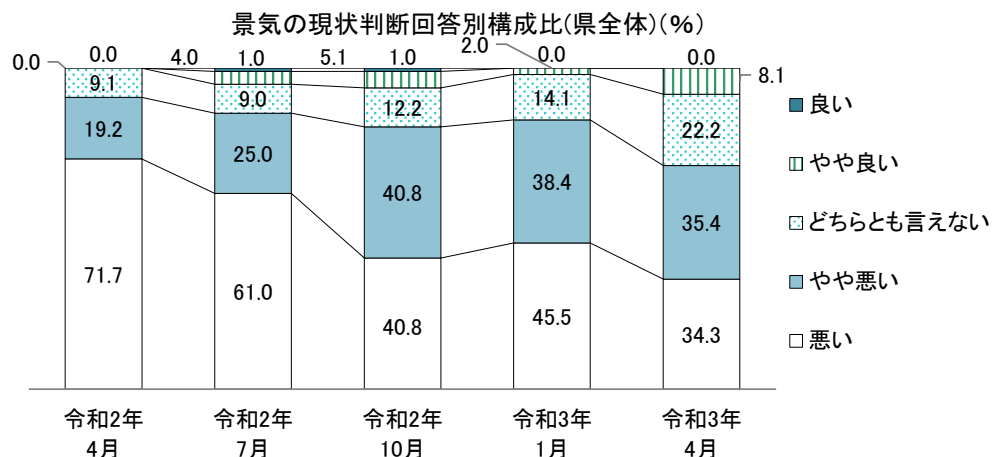
n = 99

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
合 計	9.3	14.8	21.2	18.2	26.0	7.8
家計関連	8.1	16.3	22.3	18.9	24.3	5.4
小売	7.8	20.8	24.2	20.7	30.0	9.3
飲食	0.0	2.1	13.6	8.3	18.8	10.5
サービス	8.3	14.8	20.2	16.7	17.3	0.6
住宅	25.0	29.2	37.5	41.7	37.5	▲ 4.2
企業関連	12.5	11.1	19.4	15.3	34.7	19.4
雇用関連	14.3	7.1	14.3	17.9	21.4	3.5



### ②回答別構成比 (%)

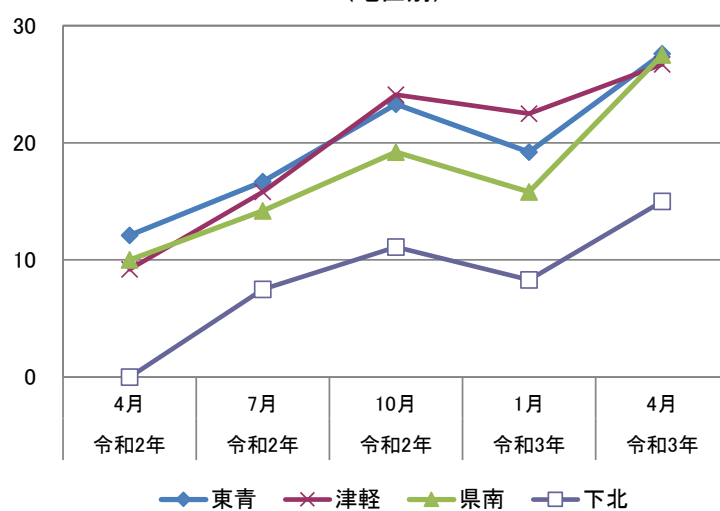
	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
良い	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	0.0	4.0	5.1	2.0	8.1	6.1
どちらとも言えない	9.1	9.0	12.2	14.1	22.2	8.1
やや悪い	19.2	25.0	40.8	38.4	35.4	▲ 3.0
悪い	71.7	61.0	40.8	45.5	34.3	▲ 11.2



③地区別DI

	令和2年 4月	令和2年 7月	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	前期調査 との差
合 計	9.3	14.8	21.2	18.2	26.0	7.8
東青	12.1	16.7	23.3	19.2	27.6	8.4
津軽	9.2	15.8	24.1	22.5	26.7	4.2
県南	10.0	14.2	19.2	15.8	27.5	11.7
下北	0.0	7.5	11.1	8.3	15.0	6.7

景気の現状判断DI  
(地区別)





(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	自粛疲れからの無力感、巣ごもりからの低消費生活慣れが怖い。ただ、県は過度なコロナ報道を控え、「青森旅キャンペーン」等で域内消費、県内景気を支えているところは評価しています。
		一般小売店	現状見当たらない口変わらず沈滞ムード継続中。
		商店街	コロナによって個人的経済状態にあまり変化が無い顧客層すなわち高齢者については、薬をもらう通院回数を減らしていることによる来街回数は減るが、必要なものを購入する回数には変化があまりないので、購入額としてはそう減っているようには思わない。街なかに関しては、街なか居住による徒歩利用や、バス、タクシー利用によって買い物に来る人数もあまり変わらないように思う。
		卸売業	在宅が多くなり、外より内(家)の事にお金を使う事が多くなっている。
		一般飲食店	青森はコロナに加え雪の影響もあるのでダブルパンチです。青森市の中心街も整備途上ですので何とかもちこたえて未来につなげたいです。
		レストラン	春らしくはなってきましたが、コロナがでると、とたんに静かに。
		都市型ホテル	何かトピックがあるたびに人の流れや動きが変わるが、土日や年度替わりのこの時期は一定の消費活動は見られる。ただし、夜の飲食についてはネガティブな様子に感じる。
		タクシー	会社と自宅の買い物の三角移動のみという生活に慣れてしまうと、外に出たり人に会ったりという事が本当に億劫になってしまっていることに気づかされます。業種や環境にもよるのですが、多くの方が軽度の「うつ」状態になっているようにも見受けられます。
		美容院	出歩く事は少なくなったと思うけれどそれなりに対応してきていると思います。
		パチンコ	以前よりも交通量が増えたと思います。
		ガソリンスタンド	近所で新築住宅が目立つが、大きな家ではなく、小ぶりの家が多いのは、補助金や取得控除が延長された影響と思われる。
		住宅建設販売	住宅資材、建材価格が上昇してきている。
津軽		スーパー	週末の大規模商業施設は相変わらず混雑。さらに昨年大手ディスカウントストアオープン以降、旧市街地は閑散としています。
		一般小売店	弘前のさくらまつりに、露店が出店しないところが多いという話聞かすが、感染が急増しないか懸念するところである。
		商店街	新型コロナウイルス感染者の地域をお知らせする時に、保健所管内という表現は仕方ないのは分かるが、やめてほしい。SNSを見ると「市でまた感染者が出た」と接続して困る。ちゃんと管内の何処とお知らせしてほしい。
		レストラン	さくらまつりに来る予定だったお客様が、まん防(まん延防止等重点措置)のおかげでキャンセルされてしまった。(多数)
		観光名所等	行政等直接影響がない人達や宅配業など影響のない業界もある。
		旅行代理店	弘前祭りや夏祭りの開催が決まり、少し明るい話題が増えてきた。□
		設計事務所	コロナによる売上減や不景気となって困っているのは飲食店に限ったことではない。補助や助成金について他の業界にも手厚く対応すべきだと思います。
		住宅建設販売	消費(数十万円のもの)については、顕著だと思いますが、百万円、一千万円以上の住宅は、先延ばし傾向を感じる。
県南		コンビニ	お客様がコロナ感染症のため仕事休みが増え家にいると、近所の人から「仕事辞めたのか」と言われたそうです。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	百貨店	3月中旬から前年極端に落ち込んだレディス衣料品が回復傾向になってきている。
		衣料専門店	個人的には、収入が減少する中で固定費の削減が出来にくい（住宅ローン/学費等）のが厳しい。
		商店街	イベント開催に対しての考え方が主催者によって大きく異なる。
		一般飲食店	飲食店は多大な影響がある。閉店に追い込まれないように知恵を出して欲しい。迅速に！
		レストラン	休業していたお店さんが再開したり、店を閉めたり。飲食店関係の職についてる方はまだまだきびしいのが現状です。
		タクシー	街の中を走っていても、街が小さくすばんでしまったような霞がかかったような、「活気」と言うのはどこに行ったんだろう。
		美容院	コロナの規制による営業の制限で休廃業の実態に心が痛みます。一日も早い収束を願っています。
		住宅建設販売	コロナの影響で飲食店の閉店が目立つ。
		一般小売店	地元大手食品スーパーは過去最高利益を出した。外食がダメでも人が食べる量は変わらないのだから当たり前の話だが、人が抗えない世の流れのようなものを感じる。
	下北	コンビニ	新型コロナウイルス関連のTV報道の影響がものすごくあると思う。
		一般小売店	当店のお客様でも、お店を閉めたお客様がでてきた。
		一般飲食店	コロナのおかげで回りの店も早じまいが多く、私達も一時間くり上げて7時30分くらいには終わっています。
		スナック	青森県は自粛要請が出てなくても、各自、各社で自粛してますので、飲食店は大変です。
		タクシー	極力外出せず、外部の方との接触を控えていると思います。
企業	東青	食料品製造	外出できないストレスでペットに癒しを求めている。
		建設	人件費を含め、資材も驚異的な速度で値上がりしている。また、木材については深刻な物不足があり今後の不安材料である(原材料が海外から入ってこない)。
		広告・デザイン	首都圏企業の電話アポによるWeb会議サービスセールスがますます活発になっている。
	津軽	食料品製造	最近新築の家が増えているようだ。
		電気機械製造	自動車産業の影響で金属材料・樹脂の入手が困難になっている
		建設	新型コロナウイルスがまだ収まっていないのに変異ウイルスが広がりつつある中、65才以上のワクチン接種の日にちがまだ決定していないのは不安だ。弘前さくらまつりを2年ぶりに開催するのはうれしいが、反面、クラスターにならないか心配だ。全国の皆様に弘前のさくらを見に来てほしいと心から思う。自分達も十分感染対策をして行動してほしい。
		広告・デザイン	弘前さくらまつりは、コロナ感染対策を厳格にし、開催を決定しましたが、開催する以上は、地域経済が想定以上に活性化してほしい。
	県南	電気機械製造	飲食業や観光業の人が再就職先を探していると言われるが、募集をしても応募は少ない。補助金がつまく効かず、労働力の停滞を招いているのではないだろうか。
		広告・デザイン	観光、飲食がコロナで大変な代表格の業種として話題になりますが、イベント中止等で全く売上げを失う、我々のような広告、イベント業界も厳しい状況です。
雇用	東青	新聞社求人広告	閉店してしまった店、閉店セールを始めた店を目の当たりにしました。新型コロナウイルスが直接の原因かどうかはわかりませんが、厳しい現実を感じます。

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地 区	対 象 地 域	調 査 客 体 数			
		合計	家計	企業	雇用
東 青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津 軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県 南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下 北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小 売	コンビニエンスストア、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲 食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ店、競輪場、ガソリンスタンド
	住 宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由

② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166 (直通)

fax : 017-734-8038